

## 令和4年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(岸地区)

開催日時	令和4年11月9日(水)午後7時から午後9時10分
場所	高齢者いきいきセンター
町民参加者	26人(50代1人、60代以上25人)
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼都市整備課長、財務課長、地域防災課長、福祉課長、保険健康課長、環境課長、議会事務局長、事務局3人

### 出席者からの主な意見や提案

#### 《テーマ：道路沿いの樹木の管理対策について》

○道路沿いの樹木について、河村城址から高瀬橋に繋がる農免道路の両側から枝が伸びて出てきている。このため湯坂地区の道路をバスが高瀬橋に向かう際に、左側から枝が伸びているためバスは道路の右側を通っている。また、道路は一車線のため車のすれ違いが難しい状況となっているうえ、枝が電線にまで達しており電線が見えないほどである。このことから、道路に大量の葉っぱが落ちるため、クリーンキャンペーン時に清掃をしているが湯坂では、通常年に1回のところ、毎年春と秋の2回やっている状況である。また、人が住んでない家もありそのままになっており、畑もうっそうとなっている箇所もあるため、イノシシやシカの隠れ家となっている。町でもできることはやっていたが、まずは地主にしっかりと管理していただきたい。

農免道路だけでなく住宅街にも空き家が何軒かある。町では、誰が土地を所有しているかなどの情報を把握していると思うので対応できる窓口を設置することも必要ではないかと思う。その他、不法投棄の問題もある。古い畳が捨てられてあり、地主に確認するとそのままにしてくれと言われる。そうすると処分せずにさらにそこにゴミを捨てる。また、10年以上前になるがボヤが出るがあった。そういった場所には、ガードレールだけではなく、高いネットや監視カメラをつけるなどの取り組みをお願いしたい。また、片付けた葉っぱや土砂を捨てる場所にも困っている。地主に了解をもらって捨てたりしているが、捨てる場所も何カ所にもなってしまう。町に相談したらトラックで積んで行くことは可能だとの回答をもらっているので、地域でどうやって処分していくか検討していきたいと考えている。

○高い木を切る時に個人で所有している長いノコギリを持ってきて切ろうと試みてはいるが、太くて切れない場合がある。そういった場合に強力なチェーンソーや高所で作業できる機材が必要になる。町で購入費の助成などはあるのか。そういったものがあれば、地域でもできる範囲で取り組んでいきたいと考えている。

○不法投棄されている土地の地主に廃棄物を処分してもよいように、承諾をいただける仕組みや手立てを十分検討いただきたい。

○野焼きが禁止されており、道路にはみ出していた伐採後の枝の処分に困っている。開成町には枝を処分する施設があるが、山北町民が使う場合は有料と聞いている。今後、伐採した枝の処分について町ではどう考えているかお聞きしたい。また、伐採した枝を足柄西部清掃センターに直接搬入することはできないのか。

○地域のボランティアで空き家の庭に生えている木の整備をしているが、切った枝の処分に困っている。その枝は燃えるゴミとして処分しているが、ただ燃やすだけでなく資源として再利用できるのではないか。空き家から出るゴミも含めて、そういった考え方はあるのかお聞かせいただきたい。

#### 《テーマ：酒匂川の管理対策について》

○日向地区において、数年前に大雨が降った時に水位がかなり高くなって土手を越えそうになったことがあった。土手を高くするとか、水底に石が多い箇所を除去する対策などをやっていただきたい。日向地区はハザードマップを見ると浸水危険区域に入っているため、大雨の際に土手を越えて水があふれだす可能性は十分にある。町や県でも検討はしていると思うが、現在どのように水害を防ごうとしているのかお聞かせいただきたい。また、日向地区は浸水危険区域であるとともに土砂災害の危険区域である。当該地域には、要介護者もいるので対策をお願いしたい。

○河川に堆積した木などを伝って、シカやイノシシといった野生動物が民地に現れている。自身も何回かシカと遭遇したことがあり、3年前には民家の庭にイノシシが現れたということもあった。河川にある木などの処理についても県に働きかけていただきたい。

○酒匂川はかつて1級河川であったので、他自治体の首長と現在の2級河川から1級河川に格上げするよう要望していただきたい。そうすれば、今あがっている問題も多少は解決するのでないか。

#### 《テーマ：その他》

○県道721号線から入るロジウィンと神奈川柑橘果工の間を歩いていく道路について、道が分からない方が運転する大型車が侵入してきて、曲がれなくなり立ち往生していることがある。この箇所に大型車通行止めの看板や道路案内板を早急に設置していただきたい。民間企業の大規模な工場周辺の道路の状態が酷く年に何回も補修しており、通行に危険な箇所がある。コンクリートの舗装の厚さを県道と同じ15センチメートルにするなど対策をお願いしたい。年に何度も補修するより、その方が費用もかからなくてよ

いのではないか。

○県からハザードマップが出ているが、災害時に自治会で決めた一時避難所から町指定避難場所であるぐみの木公園や川村小学校に避難する際にハザードマップに記載されている浸水地域や急傾斜地を通らないといけない。ハザードマップは見直されているが、町指定避難場所については、10年以上前から変わっていない。現在、見直しの検討はされているのか。また、今の考え方では、要支援者の支援が一時避難場所で終わってしまう。そういったことも町で整理を検討いただきたい。

○1市5町広域で南足柄市にゴミの焼却場ができるという話を聞いているが、実際はどうか。山北町単独でゴミの処理をしていくことは難しいのか。町の人口は減少しゴミも少なくなっていると思うが、それを踏まえて新たなゴミの処理方法など研究の余地はないのか。ゴミを全て焼却するという時代ではないと思うがどうか。

○放置空き家の清掃や立木の伐採などを地域の有志で行っている。空き屋に空き巣が入ったり、知らない人間が寝泊まりしている形跡があったりするなどし、警察がきたこともあった。放置空き家の防犯対策も考えていかなければならないと思う。また、6年前に町長と副町長に現地を確認いただいたが、空き家の敷地に巨大なケヤキが放置され周辺の住宅に大量の葉が落ちるなどの被害をうけている。最後にケヤキを確認いただいたのが6年前なのでその当時より大きくなっており、今後、地域の有志かあるいは自治会である程度の負担を検討している。もし町が手を貸すという話があれば、地域としてもやりやすくなると思うので検討いただきたい。

○国道246号の渋滞の件で、清水橋から県境までの渋滞が酷く通行するのに時間を要する。今後スマートインターが開通した際に清水橋の渋滞が懸念されるがどうお考えか。